情報コミュニケーション学部「国際交流（イギリス）」
２０２６年度　報告書

情報コミュニケーション学部設置科目「国際交流（イギリス）」の履修者８名がロンドン大学東洋アフリカ研究学院（SOAS）のサマープログラムに参加しました。



SOAS
University of London







【参加者】

１年生	２年生	３年生	４年生	計
２人	３人	０人	３人	８人



【参加ブロック】

ブロック１＆２ 7/13-8/21	ブロック２＆３ 8/3-9/11	ブロック３ 8/24-9/11
１人	１人	６人

【参加コース】

コース名	延べ参加人数
International Relations	４人
English Language Skills	３人
Environment, Development and Changing World Views	１人
Global Business Strategy	１人
Introduction to the Media	１人

明治大学情報コミュニケーション学部
2026 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　１年生・女性

・渡航に関する情報

渡航期間
8 月 22 日 ～ 9 月 14 日
渡航経路
直行便 / 経由便 経路：羽田（東京）― ヒースロー（ロンドン）
利用した航空会社
日本航空
航空運賃合計額
約 50 円

・プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック３	
参加コース名	
International Relations	
プログラム費	寮費（円もしくはポンドで記入してください）
1,980 ポンド/1 ブロック	1,287 ポンド
寮滞在日数	
８月２２日～９月１３日　（２２泊 ２３日）	
寮以外の滞在場所を利用した場合はこちらに記入してください。 （ホテル等の名称とリンクがあれば共有ください）	
名称：ロイヤルナショナルホテル リンク：https://www.jtb.co.jp/ovs_htl/detail/search_detail/1496/	

・その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	364 ポンド
海外旅行保険費用	11,180 円
交通費	124 ポンド
娯楽費	300 ポンド
その他（　　）	

・滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
8 月後半は 22～26℃くらいで、半袖で過ごせます。 9 月は 18~24℃で、長袖一枚か、半袖に羽織りを着ることが多かったです。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
日没が 20 時くらいなので、日没までは一人で普通に出歩くことができます。キングスクロス駅周辺は繁華街で夜も明るいので、日没後は複数人でいれば問題ないと思います。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
ハンガー（寮にないです)、菜箸（料理や食事のときに便利)、折り畳み傘（急に小雨が降ることがあったので携帯しておくとよいと思います）

・プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
語学の習得と実践、社会問題に関する議論などを通じて、既存の枠組みに捉われない柔軟な思考力を磨くとともに、自らの考えを的確に言語化し、主体的に行動できる人間へと成長したいと考えたからです。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
授業の内容を円滑に理解するために、国際関係や世界史の用語を調べておきました。実際に授業で出てきて、経緯や意味を考えてディスカッションをしました。
参加コースを選んだ理由
世界の社会問題について、世界の共通語である英語で考察・議論をしたいと考えたからです。また、イギリスでの世界史が、日本と異なっているか、実際に講義を受けて比較したいと考えたからです。

・授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	18 人
授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）	
教授が講義をして、その後テーマについてディスカッションをしたり、文献を読んで自分の立場を述べたりする形式でした。ディベートやプレゼンは自分で考えてくるように宿題が出ることもありました。	

授業のレベルを教えてください。
ブロック３の他のコースより、難易度は高いと感じました。内容が専門的なところもあり、ある程度の世界史を知っていないと理解に時間がかかってしまい、自分の意見を述べることができないかもしれないです。一方で、講義のあとの「Lecture Review」という授業でわかりやすく整理してくれるので、私は、３週間受けていると次第についていけるようになりました。
授業で印象に残っていることを教えてください。
課外学習で Imperial War Museum に行ったことです。戦争や帝国主義についても講義で扱っていたので、実際に展示物を見ることができ貴重な経験となりました。
プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。
世界史や今日の世界情勢を英語で学ぶという初めての経験をして、英語力が成長しただけではなく、客観的に物事を理解した上で自分の頭で考えることの重要さを学びました。日本では先生の話を聞いて覚えるというような受動的な授業になりやすいですが、SOAS では講義を聴いて理解し、自発的によく調べたうえで自分の意見を持つという一連の学びを前提としていたため、自分の無知さを目の当たりにし、世界に対する知見をもっと深めたいと思うようになりました。また、プログラムの参加者は意欲的な人が非常に多く、昼食の際に政治について意見交換や、多文化理解のために「あなたの国ではどうなの」というような会話を頻繁に耳にしました。学びたいという強い意志を持つことが、学びや研究の大きな原動力になると痛感し、明治大学でも、学生であることを再認識し、講義を受けるだけで満足せず、自分で調べ、自分の考えを整理するなど、積極的に学んでいきたいと思います。1 年次でこのプログラムに参加したことで、これからの学生生活やキャリアについて考える機会になりました。この経験を無駄にすることなく、これから日々精進していきたいと思います。

・その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
自分の意見を言語化することの難しさを痛感しました。授業に限らず、休み時間の雑談や外出先でもとっさに発言することが難しく、何度も言葉を引っ込め、その度に後悔していました。しかし、そのような会話は良くも悪くもその場一回限りの内容であるため、頭で考えていることをなるべく英語で話すように挑戦し続けました。イギリスは親切な人が非常に多く、私のつたない英語に耳を傾け、意思疎通を図ろうとしてくださったので、後半は不安やためらいが小さくなりました。世界都市のロンドンに行くこと自体が非常に貴重な経験なので、たくさんの場所に行き、たくさんの人と交流することをおすすめします！海外に初めて行く方も、海外に何度も行ったことがある方も、英語の得意・不得意も関係なく、行けば必ず素晴らしい経験になると思います！

明治大学情報コミュニケーション学部
2026 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　１年生・女性

渡航に関する情報

渡航期間
８月　２１日　　～　　９月　13 日
渡航経路
直行便 / 経由便
利用した航空会社
JAPAN　AIRLINE
航空運賃合計額
488,050　円

・プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック３	
参加コース名	
Introduction to Media	
プログラム費	寮費（円もしくはポンドで記入してください）
1,980 ポンド/1 ブロック	1228.5 ポンド
寮滞在日数	
８月　２２日　　～　９月　１２日　（　２１泊　２２日）	

・その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	100000 円
海外旅行保険費用	11180 円
交通費	14000 円
娯楽費	100000 円
その他（　　）	

・滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
日が落ちるのが遅く、朝と夕方は冷える日が多かったです。よく知られていることですが、小雨がいきなり降ったりするので、折りたたみ傘をいつも持ち歩いていました。前半は運よく、晴れている日が多かったですが、やはり曇りが全体的には多かったと思います。日本より湿気がなくムシムシしていないので過ごしやすかったです。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
何の問題もなく私は過ごすことができました。ただ、ある日の夜、ガラスが割られている音がしてとても怖かったのですが、翌日に確認してみると、私の部屋に面していた下の道路に泊まっていた車の窓がすべて割られてしまっていました。サイレンも夜になるとよく聞こえてきていた気もします。私は、日が暮れるのが 8 時くらいだったので、できるだけそれまでには帰るようにしていました。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
＜役立ったもの＞ ・洗濯かご：洗濯部屋までもっていくのにも、着た服を入れておくのにも便利です。 ＜持参すればよかったもの＞ ・調味料（塩、醤油、胡椒、油など）：寮には置かれておらず、スーパーでは大容量でしか売られていなかったので、同じフラットの人と一緒に購入している人たちもいましたが、小分けのものが少しあればよかったなと思います。

・プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
私は、将来、テレビや映画などの映像に関われる仕事をしたいと高校生の時から考えていたので、メディアについて学びたいと考えていました。そして、その仕事をするにあたって、自分自身が人種や宗教などの異なる様々な人の立場に立ち、物事を考える能力を磨きたいという思いと、英語などの言語にも力を入れることで、国境を越えた仕事をしたいという思いがありました。この 3 つの点において、このプログラムはわたしにとって魅力的だったので応募することにしました。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
隙間時間に、自分の考えていることを英語で考えるようにしてみたり、AI を使って、対話練習を行ったりしていました。自分の間違えているところなども指摘してくれるようにすると、文法や、自然な表現なども教えてくれるのでおすすめです。
参加コースを選んだ理由
先ほども述べましたが、メディア学を学びたいと考えていたからです。情報コミュニケーション学部でも関連の授業をとったりしていましたが、その学問自体を自分が好きなのかどうかもあいまいなところがあったので、それを自分自身で確認したいという思いもありました。

・授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	9 人

授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）

参加コース【Introduction to Media】
ドキュメンタリーやニュース、ソーシャルメディアなどのメディアに含まれるトピックについての講義やディスカッションを行い、最終日に向けてグループに分かれてロンドンに関するドキュメンタリーの製作を行いました。

授業のレベルを教えてください。

内容としては、一から丁寧に教えてくれるので、難しいとは感じませんでした。また、明確に答えがあり、それを理解するというよりは、そのトピックに関するメディアについて正確に知り、様々な立場があることを理解したうえで、私たち自身が思考することが重視されていたように感じました。英語の面では、たまに専門用語などが出てきたり、聞き取れないと感じるようなこともありましたが、CEFR B1 レベルの私でもなんとかついていけていたので、大丈夫だと思います！

プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。

メディアを学ぶと同時に、多くの美術館に行ったり、文化の違いを感じたりする中で、メディアだけでなく、国際学や社会学などのより幅広い分野についても学びたいという意欲が高められました。なので、情報コミュニケーション学部であることを生かして、メディアを軸としながら、他の世の中を知ることにつながる分野の授業を組み合わせて受講することで、自分の軸や考え方などを育てていきたいです。また、今回は短期留学でしたが、長期留学に挑戦したいという思いも強くなりました！

・その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。

英語力に自信がなく、出発前は不安な気持ちにかられることも多く、英語嫌いになりかけていましたが、このプログラムに参加したことで完全にその気持ちはなくなり、逆にもっと喋れるようになりたいと心から感じ、行動できるようになりました。なので、今は苦手でも、少しでも英語を喋れるようになって色んな人と喋ってみたいという気持ちがあれば大丈夫だと思います！多くの貴重な経験を積むことができ、次に何をしたいのかというきっかけも見つかったので本当に参加して良かったです！

明治大学情報コミュニケーション学部
2026 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　２年生・男性

・渡航に関する情報

渡航期間
８月２０日　～　９月１７日
渡航経路
直行便
利用した航空会社
JAL
航空運賃合計額
３７６６００円

・プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック３	
参加コース名	
International Relations	
プログラム費	寮費（円もしくはポンドで記入してください）
1,980 ポンド/1 ブロック	３１１９９０円
寮滞在日数	
８月　２０日　～　９月　１３日　（２４泊２５日）	

・その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	３００ポンド程
海外旅行保険費用	１０５０７円
交通費	１００ポンド程
娯楽費	
その他（海外 E-SIM）	８０００円

・滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
雨が多いと聞いていましたが、2026 年は干ばつが問題になるなど例年とは異なる気候だったこともあり、滞在期間を通して雨が降った日は 3 日ほどでした！ 日本と違って湿度が低いため、25 度の日でも日陰に行くと少し寒く感じることがありました。一方で、一部の地下鉄やバスにはエアコンがなく、車内がサウナのように暑くなることもあります。そのため、暑い日でも寒い日でも対応できるよう、温度調節しやすい服装で行動することをおすすめします！
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
日中は、特に危険を感じることはなく、大通りを歩いている限りは比較的安心して過ごせると思います。 自分は Brixton や Hackney など、治安に注意が必要と言われる地域にも一人で行きましたが、ホームレスの方に声をかけられた以外は、特に何もありませんでした！ ただ、現地の方や友人から、道で声をかけられ、相手に近づいた際にスマートフォンを取られるなどの被害に遭ったという話も聞きました。そのため、基本的には知らない人から声をかけられても、あまり反応せず、必要以上に近づかない方がよいと思います！
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
持参して良かったものは、バスタオルなどのお風呂で使うものや、トイレで使うものです。寮のスタッフがタオルやトイレットペーパーを補充してくれることもありますが、2 週間に一度ほどなので、なるべく余計な出費をしたくない人は、自分で一通り持って行った方が良いと思います。 持参すべきだったものは、小さなランプです。寮にはデスク照明がないため、寝る直前などに小さな明かりをつけたい人は、持参した方が良いと思います！

・プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
期間が比較的短く、自身の学習やバイトなどへの影響も少ないと考えたため、参加しました。また、自分はイギリスの音楽やドラマがかなり好きだったので、アーティストの出生地を訪れたり、作品の聖地巡礼をしたりすることも目的の一つでした。**
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
プログラムの開始直前は学期の終わりで、留学生が帰国する時期だったこともあり、普段より多くの留学生の友人と遊んでいました。
参加コースを選んだ理由
自分の英語力を考えると、英語の基礎を学ぶよりも、英語で専門的な科目を勉強した方が、英語力と専門知識を同時に伸ばすことができ、一石二鳥だと思い、この科目を選びました。

・授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	１９人

授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）

参加コース【International Relations】
International Relations では国際関係の基礎を授業、ディベート、ディスカッションなどを通して学びました。

授業のレベルを教えてください。

専門的な科目ということもあり、前提知識が全くなかった自分には、理解するのが難しい内容もありました。ただ、クラスには外交官を目指しているブラジル出身の方や、外務省で働いている日本人の方がおり、その方たちに解説してもらいながら、授業についていきました！

授業で印象に残っていることを教えてください。

聞くだけの授業もある一方で、ディベートやディスカッションなど感化型のクラスもあり印象的でした！
特にディスカッションの授業ではクラスを２つのグループに分け討論し、自分は相手を倒すために事前準備をするなど本気で挑んだので、とても楽しかったです。

プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。

プログラムを通して学んだのは、人との繋がりの大切さです！
クラスや寮内には、普段の大学生活では出会うことのできない社会人の方や他大学の方、海外で様々な経験をされている方などがおり、とても興味深かったです！
特に自分は、寮内のフラットメイトと仲良くなり、一緒に料理をするなど、交流を深めることができました。人との出会いや繋がりのおかげで、とても充実した３週間を過ごすことができました！

・その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。

アドバイスは、現地の人に積極的に話しかけることです！
個人差はありますが、ロンドンの人は、ちょっとしたことをきっかけに話しかけると、色々なことを話してくれることが多く、とても楽しかったです。自分は、パブで出会った大学生や、公園でたまたま出会った日系の方などとの会話を通して、様々な新しい発見がありました！
また、SOAS 大学で毎週水・木曜日に開かれるランチマーケットでは、Fritters というジャマイカ発祥の料理がとても美味しかったです。店主の方もとても優しかったので、ぜひ食べてみてください！

明治大学情報コミュニケーション学部
2026 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　２年生・女性

・渡航に関する情報

渡航期間
8 月 23 日　～　9 月 12 日
渡航経路
直行便　/　経由便 経路：出国便: 羽田空港-仁川国際空港-ヒースロー空港 帰国便: ガトウィック空港-広州白雲国際空港-羽田空港
利用した航空会社
出国便:羽田空港-仁川空港→Korean Air　仁川空港-ヒースロー空港→Asiana Airlines 帰国便:China Southern Airlines
航空運賃合計額
188,943 円

・プログラムに関する情報

参加ブロック	
Block 3	
参加コース名（こちらから正しく記入してください）	
International Relations	
プログラム費	寮費（円もしくはポンドで記入してください）
2,079 ポンド/1 ブロック	1,023.37 ポンド
寮以外の滞在場所を利用した場合はこちらに記入してください。	
名称：London Homestays(ホームステイ) リンク：https://londonhomestays.com/ 滞在日数: 8 月　23 日　～　9 月　　12 日　（　20 泊　21 日）	

・その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	£56.2
海外旅行保険費用	8599 円
交通費	£72.9
娯楽費	£42.9
その他（　　）	

・滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
私が滞在していた期間は夏と言えど、肌寒く感じました。気温が上がっても 16 度前後、夕方にかけて気温が下がり、夜中は 8,9 度と涼しかったです。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
学校周辺、およびホームステイ先の近くの治安は安全でした。学校近くには学校関係者や近くの会社で働いているであろう人が多く、ホームステイ先近くも住宅地であったため、学校が複数あり、子供が多く、にぎやかでした。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
持参してよかったもの: 変換プラグ 学校に充電できるところがあり、持ち歩いていました。 持参すればよかったもの: スリッパ 基本、日本とは違い土足であるため、部屋で過ごす用のスリッパがあるとより過ごしやすかったかなと思います。

・プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
留学はしたかったのですが長い期間のものは自信がなく、まずは短期間のものに挑戦しようと思い、申し込みました。 また、英語圏の国に行きたかったためです。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
継続的に TOEIC 試験の勉強をし、スタディサプリのアプリを通して話す練習をしていました。
参加コースを選んだ理由
元々国際関係の授業に興味があり、英語でどのような授業を行うのか気になり、受講しようと考えました。

・授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	18 人
授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）	
私が受講していた International Relations の授業は国際関係の問題をメインに、政治や社会、歴史を英語で学び、問題について意見を出し合ったり、討論を行う授業でした。	

授業のレベルを教えてください。
大学生以外にも大学院生や社会人も一緒に受講していました。 政治や社会、歴史の問題について英語で話し、討論する授業であったため、ハイレベルな授業でした。
授業で印象に残っていることを教えてください。
クラスメイトのほとんどが問題なく英語を話せ、その上国際問題について自分の意見をすらすらと発表していたところが印象に残っています。素晴らしい環境でさらに自分の英語に対する勉強意識が高まりました。
プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。
今回イギリスで受けた授業を通して、世界の歴史や政治、社会について学ぶことができたため、今後国際社会で起きている問題について、歴史的背景や各国の立場を踏まえながら理解を深めていきたいと思いました。また、異なる意見や価値観を持つ人々と積極的に交流し、自分とは異なる考え方も受け入れながら、多角的な視点で物事を考えられるようになりたいと考えました。

・その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
私が受講したプログラムは広範囲な世界史の知識を扱っていたため、事前に世界史を復習してから行くとより授業の理解度につながり、色んな事について議論できたのではないかと思います。

明治大学情報コミュニケーション学部
2026 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　2 年生・女性

・渡航に関する情報

渡航期間
8 月　23 日　～　9 月　12 日
渡航経路
直行便 / 経由便 経路：仁川（韓国）― ヒースロー（ロンドン）
利用した航空会社
Asiana Airpline
航空運賃合計額
236000 円

・プログラムに関する情報

参加ブロック	
Block 3	
参加コース名	
English Language Skills	
プログラム費	寮費（円もしくはポンドで記入してください）
1,980 ポンド/1 ブロック	1,170 ポンド
寮滞在日数	
8 月 23 日　～　9 月 12 日　（20 泊 21 日）	

・その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	500 ポンド
海外旅行保険費用	10460 円
交通費	53 ポンド
娯楽費	350 ポンド
その他（　　）	

・滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
8 月下旬から 9 月中旬のロンドンは、朝晩は肌寒く、半袖だけでは寒く感じる気温であった。一方、昼間は比較的過ごしやすく、半袖でも問題ない程度の気温であった。雨が降ると気温が下がり、特に朝晩は寒く感じることが多かった。そのため、半袖だけでなく、厚めのパーカーや長袖、カーディガンなど、気温の変化に対応できる服装が必要である。天候や時間帯によって気温差があるため、重ね着できる服を準備しておくとよい。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
SOAS 周辺や、寮の近くにあるキングス・クロス駅周辺は、比較的安全であると感じた。遅い時間帯でなければ、一人で歩いていても特に問題はなかった。特に懸念していたスリや人種差別などの被害に遭うこともなかった。 ただし、ロンドンでは、バイクや自転車に乗った人が通りすがりにスマートフォンをひったくるケースが増えているため、この点には注意して行動した。特に歩きながらスマートフォンを手に持たないようにするなど、常に周囲を確認することを心掛けた。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
持参して特に役立ったものは、スマートフォンストラップ、インスタント食品、RFID ブロック機能付きのポケットがあるショルダーバッグである。スマートフォンストラップは、スマートフォンのひったくりや紛失の防止に役立った。インスタント食品は、イギリスは物価が高いため、食費を抑えながら簡単に食事を済ませたい場合に便利であり、現地の食事が口に合わない場合にもおすすめである。また、RFID ブロック機能付きのショルダーバッグは、貴重品を身につけて持ち歩くことができ、スリ対策として役立った。 一方、持参すればよかったと思うものは、厚手のフード付きジャケットやカーディガンなどの防寒着である。ロンドンは天候が変わりやすく、雨が降ると想像以上に寒く感じることがあったため、重ね着できる厚手の服があると便利である。

・プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
以前から海外で生活しながら英語を勉強してみたいと思った。大学で英語を勉強するだけではなく、実際に英語を使う環境に身を置くことで、英語を話すことにもっと慣れたいと思い、このプログラムに参加した。また、ロンドンで生活しながら、イギリスの文化や街の雰囲気を実際に経験してみたいと思った。

プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
出発前は、英語を話す時に使える基本的な表現を復習した。また、英語で日記を書く練習をして、毎日の出来事を簡単な英語で説明できるようにした。現地ではできるだけ英語を使うことを意識した。
参加コースを選んだ理由
英語の基本的な能力を全体的に伸ばしたいと思ったからである。特に、実際の会話で英語を使う機会を増やし、英語を話すことに慣れたいと思い、このコースを選んだ。

・授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	12 名
授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）	
参加コース【English Language Skills】 リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングなど、英語の基本的な技能を勉強した。また、ロンドンの街や文化について学ぶ授業もあり、実際にロンドンの街を訪れて、建物や街の様子について感じたことをオンラインのボードに英語で書く活動も行った。例えば、The Shard や Borough Market、Liverpool Street 周辺のグラフィティなどについて実際に訪問し、それぞれについて感じたことや印象を英語で共有した。さらに、最終発表では、自分のグループが担当した都市について調査し、その都市の改善点を英語で発表した。	
授業のレベルを教えてください。	
授業レベルは、基本的に専門的な学問を学ぶというよりも、英語の基本的なスキルを身につけることを目的としていたため、難しいとは感じなかった。大学で英語を勉強した経験もあったため、授業内容についていくことに大きな問題はなかった。また、分からない部分があった場合も、先生が親切かつ丁寧に説明してくださったため、内容を理解しやすかった。	
授業で印象に残っていることを教えてください。	
授業で特に印象に残っているのは、実際にロンドンの街に出て、現地の建物や文化を体験しながら英語を学んだことである。The Shard や Borough Market、Liverpool Street 周辺などを訪れ、現地で感じたことや印象を英語でオンラインのボードに書く活動を通して、教室で学ぶだけでは得られない実践的な英語を学ぶことができた。また、最終発表では、グループで担当した都市について調査し、その都市の改善点を英語で発表したことも印象に残っている。実際の街や文化を題材にして英語を使うことで、英語をより身近に感じることができた。	

プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。
今後は、今回身につけた英語でのコミュニケーション能力を学部での授業や発表、グループワークなどに活かしていきたい。また、英語を単に勉強するだけでなく、実際に使う機会を積極的に作り、より自然に自分の意見を伝えられるようにしていきたい。さらに、今回の海外での経験を活かし、今後も異なる文化や価値観に触れる機会を大切にしたい。

・その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
英語で自分の考えをすぐに伝えることに苦労した。特に、頭の中では言いたいことがあっても、それを英語にして話すまでに時間がかかることがあった。しかし、授業での発表や日常生活で英語を使ううちに、少しずつ話すことに慣れることができた。 今後参加する人には、間違いを気にしすぎず、積極的に英語を使うことを勧めたい。授業だけでなく、買い物や食事などの日常生活でも英語を使うことで、より実践的な英語の練習になると思う。

明治大学情報コミュニケーション学部
2026 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　4 年生・女性

・渡航に関する情報

渡航期間
8 月 22 日　～　9 月 12 日
渡航経路
(直行便) ／　経由便 経路：羽田(東京) ― ヒースロー(ロンドン)
利用した航空会社
JAL
航空運賃合計額
453200　円

・プログラムに関する情報

参加ブロック	
Block 3	
参加コース名（こちらから正しく記入してください）	
English Language Skills	
プログラム費	寮費（円もしくはポンドで記入してください）
1,980 ポンド/1 ブロック	1228.50 ポンド
寮滞在日数	
8 月 23 日　～　9 月 12 日　（　20 泊　21 日）	

・その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	約 60000 円
海外旅行保険費用	10460 円
交通費	約 30000 円
娯楽費	約 40000 円(施設入場料等)
その他（　　）	

・滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
今年は比較的暑かったと聞いています。半袖に羽織るもの一枚で十分でした。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
想像より良かったです。スリや差別に遭うこともなかったのですが、スマホのスリには十分に気をつけるようにとプログラムの先生からは言われていたため、警戒はした方が良いと思います。強いて言えば、交通量が激しい場所の横断歩道を渡る時に危なかったと感じた程度でした。特に自転車が怖かったです。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
◯役立ったもの ・突っかけのスリッパ：室内と屋外どちらも使えるものを持参しました。近所に買い出しに行く程度の用事の際に、スニーカーを履く面倒が省けたので重宝しました。 ・クリアファイル：授業で配られる紙の資料をまとめるのに役立ちました。 ・水筒：色々な場所で水が汲めたので、飲み物代節約になりました。 ・着圧ソックス：交通費節約も兼ねてかなり歩いたので、脚の疲労軽減に役立ちました。飛行機内でもエコノミークラス症候群対策で着用しました。 ◯持参すればよかったもの ・温かいものを入れる用のお椀：味噌汁や袋麺を食べる時の容器がなく困りました。ラーメンかうどんを食べたいならカップ麺にした方がいいと思います。 ・マッキー：冷蔵庫が共有なので、自分のものであるとはっきり分かる様にした方が安心だと思います。みんな同じ様な食材を買うので、「これ本当に自分のだっけ？」ってたまに不安になりました。 ・食器を拭く用の布：キッチンにある布は台拭きっぽいものだったので、使ってないフェイスタオルで食器を拭いていました。 ・タッパー：食費削減のためにたまにお弁当を持って行っていました。お店で持ち帰りの時にもらったタッパーを使っていましたが、液漏れしたので日本から持ってた方が安心だと思います。

・プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
英語でコミュニケーションを取る機会が欲しかった、またコミュニケーションを円滑に取るための英語力を向上させたかったから。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
特に何もしていなかったです。英語の塾でアルバイトしているのと、国際系サークルに所属しているので、英語に触れる機会は比較的多かったと思います。
参加コースを選んだ理由
英語でコミュニケーションを取る技術を身につけたかったから、英語で勉強するというよりも英語そのものを勉強したかったから。

・授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	12 人

授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）

参加コース【English Language Skills】
10 時から 12 時まで文法系の授業、13 時から 15 時までコミュニケーションの授業でした。でも午前中の授業の方がコミュニケーションを取っていて、午後の授業の方が文法っぽい感じがしました。午前と午後で別々の先生だったのですが、お二人ともイギリス出身でした。

授業のレベルを教えてください。

他のコースに比べ易しかったと思います。クラスはほとんど日本の大学から来ている学生で構成されているので、気を抜くと日本語で話してしまいがちな雰囲気でした。先生もゆっくりと伝わりやすい英語を話してくれていました。

授業で印象に残っていることを教えてください。

文法のコースの方では、毎日日記を送ってみんなの日記のどこが間違っているのかを探すワークをしていました。意味は通じるけどこうした方が自然、などといったネイティブの先生だからこその視点をたくさん知れたのが非常によかったです。
コミュニケーションの授業の方では、study trip として 2 回観光地に連れて行ってもらいました。移動中にロンドンの街並みや生活のことについて説明を受けたりするなどして、英語だけでなくロンドンについても学ぶことができました。

プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。

英語でコミュニケーションを取るハードルがより下がったと感じています。そのため日常でも積極的に英語を使っていきたいと思いました。

・その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。

英語を意識し続けることに苦労しました。Block3 は参加者がほとんど日本人だったため、日本語を話す機会が大分多めでした。他大学の友達を作ることができたので、一概によくなかったとは思わないのですが、授業以外では先生と会話する時や街中でしか英語を使わなかったので、折角の機会なのに勿体無かったかなとは思います。前半のブロックだったり、意識して英語を使う様にする(同じクラスの子はほぼ毎日パブに行って、お客さんと英語で雑談していたと言っていました。)と、より良い経験になるのではないかと思います。

明治大学情報コミュニケーション学部
2026 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　4 年生・男性

・渡航に関する情報

渡航期間
8 月 1 日～9 月 18 日
渡航経路
直行便　/ 経由便 （往路）羽田（東京）– ソウル - ヒースロー（ロンドン） （復路）アムステルダム – ストックホルム - ソウル -
利用した航空会社
（往路）アシアナ航空 （復路）KLM オランダ航空、中国東方航空
航空運賃合計額
276,542（141,420+135,122）円

・プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック 2,3	
参加コース名	
English Language Skills／International Relations	
プログラム費	寮費（円もしくはポンドで記入してください）
3,744 ポンド（2 ブロック合計）	560,052 円
寮滞在日数	
8 月 1 日～9 月 13 日　（43 泊 44 日）	

・その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	100,000 円（ほとんどインスタントヌードル）
海外旅行保険費用	17819 円
交通費	0 円（通学費用）
娯楽費	約 400000 円
その他（　　）	

・滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
8 月中は比較的気温が高く、軽装で過ごすことが可能である。 一方、9 月に入ると気温が一気に落ち込むため、上着が必要となる。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
詐欺やスリが多いため、日常的に意識して生活することが必要である。 一方、深夜に出歩くことがない限り、犯罪に巻き込まれる心配はないように感じる。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
スマホチェーン

・プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
外資系企業への内定が決まり、昇進に語学の能力が求められるため。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
語学力の向上。（単語帳の暗記、BBC の聞き取りなど） 英語で交流・議論できる程度のリスニング、スピーキング能力は必須であるため、入念な事前準備が必要であったと感じる。
参加コースを選んだ理由
【English Language Skills】： 語学力に自信がなかったため、専門コースに参加する前に語学力強化のコースを選択した。 【International Relations】： 世界情勢に関心があったため。 国際関係に関して、過去も含めた体系的な理解を得たいと考え、選択した。

・授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	英語：9 人 国際：19 人
授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）	
【English Language Skills】： 午前）ニュースや生徒の日記の読み込み 午後）イギリス英語を通じたスピーキング実践、BBC の視聴 週に一度、フィールドトリップ 最終日にプレゼンテーション。 【International Relations】： 基本は、講義→復習→ディスカッションの繰り返し、他にケーススタディやセミナーの授業がある。 最終日にプレゼンテーション。 セミナーに関して：内容は事前に決まっておらず、前日に講師によって決められる。ディスカッションやプレゼンテーションなど。	

授業のレベルを教えてください。

【English Language Skills】:

一部を除いて語学力がそれほど高くない参加者が多い。そのため、授業レベルも優しい。

しかし、その分、実践的な知識を得られる機会が少ない。

英語に慣れることがコースのゴールに設定されているのではないだろうか。

私は IELTS を受験したことがないため、具体的なレベル感は伝えられないが、IELTS6.5 を所有している参加者は簡単すぎると言っていた。

【International Relations】:

非常に高い。授業は国際関係論に関わる専門用語を用いて実施される。

そのため、参加前、もしくは授業後に、語学/国際関係に関する復習が必須になる。

また、海外在住経験者や仕事で海外との関わりが深い人が参加している人が多い印象がある。

私は語学力、知識ともに不十分であったため、以下のスケジュールで生活していた。

10:00-15:00 授業

15:00-18:00 下校、洗濯、夕食、娯楽など

18:00-26:00 復習

観光は休日に行った。

他の参加者に比べ、圧倒的に語学力の部分で劣っていたため、過密なスケジュールになっている。

そのため、これはレアなケースであると思われる。

授業で印象に残っていることを教えてください。

現在の主権や国家の概念は、歴史によって生み出されたものである。

具体的には、民族/国家紛争を経るにつれ、（主に）西洋国によって確立されてきた。

プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。

授業外の過ごし方から回答する。

具体的な方針は定まっていないが、当プログラムは人生設計に大いに役立つと考える。

私は、自身と異なる人生設計をされている方と多く関わり、刺激を受けた

キャリアでいえば、政府系の方や経団連の方など、

思想でいえば、ムスリムや仏教徒の方など、

様々な考えや人生に触れて、自分自身が方針のないまま漠然と過ごしていることに気が付いた。

今後は、自分にとっての最良の人生を改めて見直したいと思う。

・その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
語学に最も苦労した。 TOEIC750 点程度は持って参加したものの、最後まで周囲とのレベル差を感じたまま修了した。 アドバイスとしては、入念な事前準備をすることを推奨する。 語学に関しては、日本語で行っている会話が英語でも行えるのであれば問題ないと思われる。 専門知識も多少学んでから参加することも望ましい。 それが不可能な場合は、自信を持って元気なコミュニケーションを行うことだ。 授業はついていけない可能性があるが、友達は確実に多く作ることができる。 彼らに頼って、キャッチアップできる。 最後に 難易度の高さばかりを示唆してしまったが、非常に実のある体験であり、多少自信がなくても参加することを推奨する。

明治大学情報コミュニケーション学部
2026 年度 SOAS サマープログラム報告書

参加者　4 年生・女性

・渡航に関する情報

渡航期間
6 月 27 日　～　9 月 16 日
渡航経路
直行便　/　(経由便) 経路：羽田(東京)―上海(中国)―ガトウィック(ロンドン) ブダペスト(ハンガリー)―上海(中国)―羽田(東京)
利用した航空会社
中国東方航空
航空運賃合計額
￥170,400

・プログラムに関する情報

参加ブロック	
ブロック 1(7/13~7/31)、ブロック 2(8/3~8/21)	
参加コース名	
Global Business Strategy Environment, Development and Changing World Views	
プログラム費	寮費（円もしくはポンドで記入してください）
£3,744(￥827,830)/2 ブロック	¥529,746
寮滞在日数	
7 月 12 日　～　8 月 22 日　（41 泊 42 日）	

・その他費用に関する情報　※円またはポンドで記入してください。

食費（概算）	￥158,745
海外旅行保険費用	￥13,800
交通費	￥73,859
娯楽費	￥12,4361
その他（洗濯、esim 代、日用品の買い足し等）	￥15,267

・滞在先（ロンドンについて）の情報

ロンドンの気候について：現地の気候を教えてください。
2026 年度は熱波の影響で 30 度を上回る日が何日も続き、教室・寮ともにエアコンがついていないためブロック 1、2 の時期の日中はとても暑かったです。朝晩は長袖で丁度良いくらいの気温でした。
治安ついて：現地の治安について感じたことを教えてください。
特に不安を感じたことはありませんが、同じ寮の方が Oxford St、Chinatown 等のある Soho エリアで財布やスマホを取られたという話を聞きました。深夜に出歩かない、繁華街ではスリに気を付ける等意識していれば問題ないかと思います。大麻の匂いは街中でしていました。
持参して役立ったもの・持参すればよかったと思うものとその理由
・PC(授業内容の確認・スライドの作成等必須です) ・スマホのストラップ(スリ対策) ・ハンガー(寮にクローゼットはありますがハンガーはありません) ・除菌ウェットティッシュ(現地ではなかなか売っていませんでした) ・水筒(学校、寮、公共施設でも給水スポットが沢山あります) ・室内用サンダル(寮で過ごすのに便利でした)

・プログラムついて

このプログラムに参加しようと思った動機
大学 3 年次の終わりに就職活動を終え、残された学生生活で新たな挑戦をしたいと考え、本プログラムへの参加を決めました。また大学 2 年次で 1 か月間の語学留学を経験した際に、各国の人々との交流を通して価値観が大きく広がったため、今回は語学習得にとどまらず、英語で専門分野を学び、日本人以外の人とも積極的に意見を交わす力を身につけたいと考えました。
プログラム参加が決定してから準備したこと（学習面）
イギリス英語に慣れるため、Youtube でイギリス人の方のチャンネルや BBC ニュースを見たり、ポッドキャストを聞いたりしていました。TOEIC の勉強等もしましたが、個人的には日常会話をはじめとするスピーキングの練習が一番効果的だったと感じています。
参加コースを選んだ理由
なるべく英語を使わざるを得ない環境に身を置き、海外の友人を作りたいと考え、日本人の参加が少なそうな時期とコースを選びました。また、内定先が海外事業のさらなる拡大を目標に掲げていることから、グローバルな視点で理解を深めたいと思い、ビジネスと環境のコースを選択しました。

・授業について

授業規模：参加人数を教えてください。	6人 / 7人

授業内容を教えてください。（複数コース参加の場合はそれぞれ教えてください。）

【Global Business Strategy】
企業における仕組みや周囲との関わり、世界規模で有名な企業を例にしたケーススタディなど、基本的な企業・ビジネス・社会の仕組みから、社会的責任やマーケティング等まで幅広く扱いました。
【Environment, Development and Changing World Views】
環境や開発といった概念がどのように形成されていったのかを、宗教観や歴史的背景をもとに学習し、その上で近年人々の間でどのように価値観が変化していっているのかを学びました。

授業のレベルを教えてください。

【Global Business Strategy】
先生がスライドを用いながら解説する講義形式でした。初めは英語を聞き取ることに少し苦労しましたが、有名企業の事例をもとにした解説が多く、内容を具体的にイメージしやすかったです。また、大学で経営やマーケティングに関する授業を履修していたこともあり、英語に耳が慣れてからは、授業内容もそこまで難しくないと感じました。特に事前知識がなくても問題ないかと思います。
【Environment, Development and Changing World Views】
先生がホワイトボードを用いて解説する講義形式で、概念的・抽象的な内容も多く、授業の難易度はかなり高いと感じました。また、授業内で解説はしていただけますが、歴史・宗教・哲学等に関する事前知識の有無によって、理解度が大きく異なると思います。しかし頑張って授業についていった分、得られるものも多く、非常に学びのある授業でした。

両コースでは共通して、専門科目の指導をしてくだる先生と、語学のサポートをしてくださる先生とが交代で授業を行ってくださいました。そのため、馴染みのない分野の授業を選択しても、用語の解説や語学面のサポートを受けながら授業に参加することができました。どのコースを選択した場合でも、最終日には個人またはグループでプレゼンテーションを行います。

授業で印象に残っていることを教えてください。

環境の授業の一環として、WWT ロンドン・ウェットランド・センターを訪れたことが特に印象に残っています。先生の解説を聞きながら湿地に暮らすさまざまな生き物を観察し、自然環境や生態系を保全する重要性について、実際の現場で学ぶことができました。日本ではなかなか得られない、留学ならではの貴重な経験だったと感じています。

プログラムを通じて学んだことを今後、学部での学びや今後にどう活かしていきたいか。
今回のプログラムを通じて、自分が世界に対して持っている知識や関心の幅が、まだ狭いことを痛感しました。クラスには学生だけでなく、会社から社費留学で参加している方や、経営者として会社を経営しながら学びに来ている方など、年齢・国籍・立場が大きく異なる人々が集まっていました。そうした人々と交流する中で、自分とは異なる価値観や物事の捉え方に触れ、多くの刺激をいただきました。また、授業では個人としての意見だけでなく、日本人としての視点を求められる場面も多くありました。今後は日常的に世界の出来事へ目を向け、それらを他人事として捉えるのではなく、自分なりの意見を持ち、発信できるようになる必要があることを改めて強く感じました。 また今回のプログラム期間中、伝えたいことがあるにもかかわらず語学力が足りず十分に伝えられないことに、何度も悔しさを感じました。その一方で、この経験はもっと英語を学び、自分の考えを自由に伝えられるようになりたいという強い意欲にもつながりました。今回の留学で身につけた語学力を維持し、さらに伸ばしていくために、帰国後もリスニングやスピーキングの学習を継続していきたいです。

・その他について

プログラム全体を通して苦労したこと、今後参加する人へのアドバイスを教えてください。
2024・2025 年度の報告書を読み、後半のブロックになるほど日本人の参加者が増え、授業外では英語を話す機会が少なくなる場合があることを知りました。(実際に、ブロック 1 はクラス 6 名のうち私 1 名のみ、ブロック 2 は 7 名中私含め 5 名が日本人でした。) そのため、ただの旅行になってしまわないよう、できるだけ多く英語を使う機会を自ら作ることを意識しました。放課後や週末にもクラスの友人と出かけることで、一日を通して英語で会話する環境に身を置くことができ、その日常会話の積み重ねによって、スピーキング力が大きく向上したと感じています。 また、周囲が流暢な英語で会話している中、拙い英語で話の輪に加わることには、初めのうちは勇気が必要でした。しかし振り返ると、大変ではあったものの、体当たりで挑戦したからこそ得られた経験や出会えた人、身についた力が数多くあったと感じています。 私は 2 つのブロックに参加したこともあり、一日一日の内容が非常に濃く、プログラム期間はあっという間に過ぎていきました。多くの出来事や学びがある分、時間が経つと、そのときに感じたことを忘れてしまうこともあります。このプログラムを通じて得られる経験や学びは数え切れないほどあるため、後から振り返ることができるよう、その日に感じたことや学んだことをこまめに記録しておくことをおすすめします。

・寮について
➡私のフラットは６名１フラットで、全員日本人でした。サマープログラム参加者は国籍や滞在期間ごとに同じフラットに振り分けられる場合が多いようです。共有スペースには日本人以外の方も多くいたため、積極的に顔を出せばコミュニケーションが取れる良い機会になると思います。
➡部屋には、タオル大小１枚ずつ、コップやお皿等のカトラリー類が用意されていました。共用キッチンにも最低限の調理器具一式はそろっています。リネンは週に１回清掃が入る際に交換があり、エアコン設備はありませんが、換気扇を回して窓を開ければ比較的快適にすごせました。

・放課後や土日の過ごし方
➡放課後はクラスメイトと出かけたり、ショッピングや美術館巡り・ミュージカル鑑賞をしたりと、ロンドン内だけでもかなり満喫できて、6 週間でも足りないくらいでした。
➡土日はイギリス国内に観光へ行ったり、ユーロスターを利用してパリやベルギーへ行ったりする方が多かった印象です。

・お金について
➡現金は一度も使用しませんでした。お店、バス、地下鉄、その辺の屋台でも全てクレジットカードが使用可能だったため、わざわざ両替して現金を用意する必要は無いかと思います。
➡商品にもよりますが、ロンドンは物価が高く、円安の影響もあり基本値段は日本の倍以上のものがほとんどだと感じました。特に調理済みの食品や外食は高額なので、安く済ませたい方には、自炊や平日毎昼 SOAS で行われているフリーミールの活用、スーパーの Meal Deal(メイン+ドリンク+スナックの組み合わせ自由で合計£４ほど)をおすすめします。ちなみに学校と寮付近ですと、TESCO、Sainsbury’s、Lidl あたりのスーパーが安かったです。(M＆S、Waitrose 等は品ぞろえは良いですが若干お高めでした。)
➡他にやっていた節約術としては、抵抗がなければ友達と洗濯物を一緒に回して割り勘したり、水筒を持ち歩いて飲み物を買わないようにしたり、スーパーやドラッグストア等でアプリ(会員登録をすると半額くらいになる場合もありました)を活用したり、チリツモですが振り返ってみるとかなり大きかったです…。

・手続きについて
SOAS からの返信や連絡事項の共有は全体的に遅く、質問や相談をメールで送っても、返事が来ないことが少なくありませんでした。私の場合、渡英後の手続きに使用するシステムに不具合が生じた際にも返信がなく不安だったのですが、初日のオリエンテーションでサマープログラムの担当者に直接相談したところ、すぐに対応していただくことができました。そのためメールの返信がない場合でも焦らず、現地で担当者に直接相談することをおすすめします。